

第1回 白馬村計画審議会 会議録（要旨）			
日 時	令和7年7月1日(火) 13:30～15:30		
場 所	白馬村役場 2階 201・202 会議室		
出席者数	27名		
区分	団体・役職	氏 名	出席
村議会議員	白馬村議会議長	太田 伸子	○
村議会議員	白馬村議会副議長	丸山 和之	○
村教育委員会委員	白馬村教育委員会	松沢 亨	○
村教育委員会委員	白馬村教育委員会	服部 知子	○
村農業委員会委員	白馬村農業委員会	松沢 正猛	○
公共的団体の役員及び職員	白馬村区長会	太田 岳人	○
公共的団体の役員及び職員	白馬商工会	山本 孝男	○
公共的団体の役員及び職員	白馬村消防団	星河 隆志	○
公共的団体の役員及び職員	白馬村シニアクラブ	徳竹 禎三	○
公共的団体の役員及び職員	白馬村民生児童委員協議会	太田 文敏	○
公共的団体の役員及び職員	白馬村身体障害者福祉協会	飯島 忠一	○
公共的団体の役員及び職員	白馬村スポーツ協会	横山 秋一	○
公共的団体の役員及び職員	白馬村スキークラブ	横川 和彦	－
公共的団体の役員及び職員	しろうま女性会	田口 令子	－
公共的団体の役員及び職員	白馬村社会教育委員	富山 正明	○
公共的団体の役員及び職員	白馬村都市計画審議会	宮尾 英明	○
公共的団体の役員及び職員	白馬村観光地経営会議	丸山 徹也	○
公共的団体の役員及び職員	白馬村4校 PTA 連絡協議会	今西 ひさ美	○
公共的団体の役員及び職員	白馬村ボランティア連絡協議会	西浦 知子	○
公共的団体の役員及び職員	白馬村観光局	福島 洋次郎	○
学識経験を有する者	特別養護老人ホーム白嶺所長	岡田 記子	○
学識経験を有する者	大北農業協同組合白馬支所長	市河 明広	－
学識経験を有する者	白馬村金融団幹事	臼田 友和	○
学識経験を有する者	白馬村建設業組合長	太田 具英	○
学識経験を有する者	白馬村索道事業者協議会会長	星野 裕二	○
学識経験を有する者	Hakuba International Business Association	イアン・ミラー	○
学識経験を有する者	白馬 EV クラブ	渡辺 俊介	○
事務局	白馬村役場 総務課長	田中 克俊	○
事務局	白馬村役場 GX 統括監	白濱 雄太	○
事務局	白馬村役場 総務課 企画政策係長	渡邊 宏太	○
事務局	白馬村役場 総務課 情報まちづくり係長	田中 元気	○
事務局	白馬村役場 総務課 企画政策係	小林 啓	○

※西浦委員はオンライン参加

1. 開 会

【事務局 田中総務課長】

開会を宣言した。(進行:事務局 田中総務課長)

2. あいさつ

【丸山村長】

ご多忙の中、白馬村計画審議会の委員に就任いただき、心から感謝申し上げます。

総合計画は、まちづくりの基本方針を定める極めて重要な計画として、各個別計画の最上位に位置付けられている。第5次総合計画の計画期間が令和7年度で終了することから、次の10年間を対象とする「第6次総合計画」を策定するため、昨年度から村民アンケートや各地区との懇談会等により、村民の意見を収集してきた。今年度は、それらを基に基本構想や基本計画を立案し、村民の皆様に分ごととして捉えていただける実効性のある計画を策定していきたい。

また、先日閣議決定された「地方創生 2.0 基本構想」において、これまでの10年間の地方創生の成果と反省が整理されるとともに、次の10年間に向けて人口減少を正面から受け止めた上で、多様な関係者と議論して総合戦略を策定することが重要と示された。白馬村の総合計画は、地方版総合戦略を含むものとして策定するため、国や県の動向も踏まえながら内容を検討していくこととなるが、この計画審議会は、様々な分野を代表する皆様に委員に就任いただいているため、それぞれの視点や知見から忌憚ないご意見をいただきたい。

なお、計画策定に併せて、「自治基本条例(仮称)」を制定したいと考えている。自治基本条例は、様々な条例の最上位に位置付けられる市町村の憲法のようなもので、まちづくりに関する基本的なルールや村民・議会・行政等の役割を定めるものである。外的な要因の影響を受けやすく、人の出入りも多い白馬村において、時代を越えて大切にすべきものは何なのか、皆さんと一緒に考えて共通の認識を持ちながらより良い未来に進んでいきたい。

最後に、委員の皆様のご協力とご支援により、さらに美しく魅力的で住みやすい白馬村に向けて地域一丸となって取り組める計画を策定できるようお願い申し上げ、挨拶とする。

3. 委嘱状交付

時間の関係もあり机上交付とした。

4. 自己紹介

委員及び事務局の自己紹介を行った。

5. 会長選出

【事務局 田中総務課長】

白馬村計画審議会条例について説明した後、会長選出について委員から意見を求めた。

委員より「事務局一任」の意見があり、事務局案での選出に対して委員に意見を求め、同意された。

事務局案として、会長として白馬村教育委員の松沢亨委員を提案し承認を求めたところ、全員一致で承認された。

【松沢会長】 あいさつ

様々な分野から委員が集まり、諸先輩方もいらっしゃる中で会長の職を受けるのは大変恐縮ではあるが、委員の皆様にご協力いただき、計画策定に尽力していきたい。それぞれの視点から活発に議論を交わしていく必要があると感じているが、意見が言いやすく建設的な協議がしやすい場を皆さんと創っていきたい。

【事務局 田中総務課長】

条例に基づき、会長から副会長を指名いただきたい旨を述べた。

【松沢会長】

条例では会長の指名と規定されているが、事務局案をもって会長の指名とさせていただくこととし、白馬商工会副会長の山本孝男委員に副会長に就任いただきたい。

→異論なく承認された。

6. 諮問

村長と会長が登壇し、村長が諮問書を読み上げた後、会長に手交した。

※その後、村長は公務のため退席した。

7. 会議運営に関する確認事項について

【事務局 渡邊企画政策係長】

配布資料により、会議時間、会議及び資料の公開、議事録、答申等について説明した。

8. 協議事項（進行：松沢会長）

（1）総合計画・総合戦略の策定方針等について

【事務局 渡邊企画政策係長】

資料 1 により説明した。

【松沢会長】

委員に質問や意見を求めたが、特に発言はなかった。

（2）第5次総合計画の評価について

【事務局 渡邊企画政策係長】

資料 2 により説明した。

【松沢会長】

委員に質問や意見を求めたが、特に発言はなかった。

（3）まちづくり村民アンケートの結果について

【事務局 渡邊企画政策係長】

事務局より、資料 3 により説明した。

【松沢会長】

委員に質問や意見を求めた。

【津滝委員】

自由記述について、内容を見ることはできるか。

【事務局 渡邊企画政策係長】

現時点では公表しているものはないが、個人を特定できるような情報等を削除した上で公開してお知らせする。

【太田文敏委員】

本日資料として配布されたもの以外にクロス集計で知りたいデータがある場合は分析をお願いできるか。

【事務局 渡邊企画政策係長】

既にクロス集計している項目もあり、行政ホームページに報告書として掲載しているものもある。それ以外の項目でも、必要に応じて改めてクロス集計等を行うことはできるため、希望があればお聞かせいただきたい。現時点では公表しているものはないが、個人を特定できるような情報等を削除した上で公開してお知らせする。

【丸山和之委員】

「白馬村に住んでいることを誇りに思いますか」という問いに関連して、どんなことを誇りに思っているのか、「白馬村を寛容だと思えますか」という問いに対して、どんなところが寛容だと思うか、など理由や要因についても把握しているか。

【事務局 渡邊企画政策係長】

今回は設問としていないため、把握できていない。質問の数が多くなると回答率が下がることが予想されるため質問は取捨選択せざるを得ないが、次のアンケートに向けて検討したい。

【丸山和之委員】

若い世代の回答数が少ないということであったが、独身者や子育て世代など属性を分けて再度アンケートを実施する予定か。

【事務局 渡邊企画政策係長】

再度アンケートを依頼しても回答率の向上があまり期待できないため、若い方に集まっていただき、村から情報提供したり、白馬村のまちづくりや将来像について意見交換したりする場を設けたいと考えている。

若い皆さんに「総合計画を策定します」と伝えてもあまり響かないと思われることから、何かのイベントと抱き合わせたり、若い人たちが参加したくなる楽しい要素を取り入れたりできるよう、庁内で検討したい。

【松沢会長】

他に意見を求めたが、特に発言はなかった。

(4)意見交換(白馬村の課題・将来像等について)

【事務局 渡邊企画政策係長】

委員が30人と多く、全体で意見交換をすると一人ひとりの発言回数や時間が少なくなってしまう。

次回以降も含めて、前半は事務局から全体に情報提供をして質疑を行い、後半はグループに分かれて意見交換し、最後に全体で共有する形で進めていきたい。

今回のグループ分けは、世代や出身、専門分野などを踏まえて、できる限り多様な委員で構成されるよう事務局で割り振ったが、次回以降は専門領域等に応じてグループに分かれて議論いただくことなども考えている。

今日はGX統括監の白濱の進行で意見交換を進めていきたい。

【事務局 白濱 GX 統括監】

先ほど説明したアンケート結果は定量的な情報になるが、今日は委員の皆さんが日々の暮らしや事業で感じていることを定性的に測ってみたい。

この10年間で振り返り、良くなったものと悪くなったものを出し合いながら意見交換してもらいたい。

はじめに個人で考える時間を設けて、その後グループの中で共有して議論した上で、最後に全体に報告してもらう形で進めたい。良くなったと感じるものは黄色い付箋に、悪くなったと感じるものは青い付箋に書いて、似たような内容や関連するものは近くに集約して模造紙に貼ってもらいたい。

<意見交換>

- ① 10年間で良くなったと感じるものを書き出す:5分間
- ② 10年間で悪くなったと感じるものを書き出す:5分間
- ③ 書いたものをグループ内で共有する:25分間
- ④ 全体への共有:10分間

<発表>

グループ A

■ 良くなったと感じるもの

- ・メディア等にも多く取り上げられ、白馬村の魅力を多くの方に知ってもらい、観光客が増え、経済的にも活性化した。
- ・ふるさと納税の寄付額が増えた。
- ・移住者に対する地域住民の接し方が優しくなった。
- ・廃屋が減り、景観的にも地域の安心的にも改善された。
- ・ほ場整備が進み、農業の効率化が実現された。
- ・河川整備が進み、水害に対する安心感が増した。

■ 悪くなったと感じるもの

- ・後継者や従業員など人手不足が加速した。
- ・地価や家賃が上昇し、白馬に住みたい若者が住めず、近隣市町村から通勤する人が増えた。
- ・物価高騰等もあり、村民が気軽に利用できる飲食店が減少し、村民が集まる機会も減った。
- ・行政区や消防団など若い世代の担い手が減少し、活力が減退した。
- ・冬季の訪日観光客増加に伴い、高齢者の外出控えが増え引きこもりがちになった。

グループ B

■ 良くなったと感じるもの

- ・冬季を中心に白馬の知名度が上がり、グリーンシーズンも注目されるようになってきた。(閑散期が減った)
- ・メディア等にも多く取り上げられ、白馬村の魅力を多くの方に知ってもらい、観光客が増え、経済的にも活性化した。
- ・気候変動(温暖化)により、水温が上がりお米の質が高まり評価されるようになった。
- ・農地の集積が進み、効率的な農業ができるようになった。
- ・白馬高校の魅力づくりにより高校が維持され、地域と連携した学びが行われるようになった。
- ・多様性・国際化を受け入れる住民の寛容さが育まれた。
- ・村全体で子育てをしていると感じられた。

■ 悪くなったと感じるもの

- ・ 地域コミュニティが希薄になった。
- ・ 地価や家賃の高騰により若い世代が住みづらくなり、若い世代の村外流出が増えた。
- ・ バス料金等も値上げされ、公共交通を利用する生徒の保護者の負担が増えた。
- ・ 高齢化が進み、後継者不足が顕著になった。

グループ C

■ 良くなったと感じるもの

- ・ 移住者が増え、コミュニティが多様になり、外国籍の児童・生徒も学校に通いやすくなった。
- ・ 観光の通年化が進み、稼ぐ力が向上して雇用が安定した。

■ 悪くなったと感じるもの

- ・ 近隣住民等との関係性の希薄化により安心感が失われたり、世代間交流機会の減少により心の豊かさが失われた。
- ・ 歴史や文化など、「白馬らしさ」、「日本らしさ」が失われた。
- ・ オーバーツーリズム(観光公害)の不安が増した。

グループ D

■ 良くなったと感じるもの

- ・ 国内外からの観光客が増え、観光の通年化が進んだ。

■ 悪くなったと感じるもの

- ・ 人手不足や少子化によりコミュニティが希薄になり、白馬らしさが失われた。
- ・ インフラ設備の老朽化が進み、不安が高まった。

グループ E

■ 良くなったと感じるもの

- ・ 海外からのお客様が増え、地域が国際的になり、経済的にも賑わった。
- ・ 子育て支援施設の整備など子育て環境の改善に向けた動きが出てきた。

■ 悪くなったと感じるもの

- ・ 外国人観光客が増えたことで日常生活への負の影響やトラブルが増えた。
- ・ 貸別荘の清掃など人材不足が生じるようになった。
- ・ 物価上昇や住宅不足など住みやすさが失われるようになった。

グループ F

■ 良くなったと感じるもの

- ・ 国内外の知名度が向上し、観光客が増え、施設も充実してきた。
- ・ 若い世代のリーダー人材が現れ、通年観光を意識した観光開発やプロモーションが行われるようになった。
- ・ スクールバスやデマンドタクシーなど課題とされてきた交通施策が充実してきた。

■ 悪くなったと感じるもの

- ・ 外国人観光客が増えたことで日常生活への負の影響やトラブルが増えた。
- ・ 地価や家賃の上昇により転出者が増えたり、住みたいけど住めない若者が増え、人手不足が深刻化した。
- ・ 気候変動の影響により夏の過ごしやすさが失われ、自然環境への影響も不安が大きくなった。

オンライン参加者

■ 良くなったと感じるもの

- ・ 忙しくても積極的にボランティアに参加する人が増えた。
- ・ アジア系住民が増え、多国籍になった。
- 悪くなったと感じるもの
 - ・ ボランティア登録団体が減少した。
 - ・ 高齢者等の除雪に対する心配・困り感が高まってきた。
 - ・ 若い人たちを中心に心のゆとりが無くなってきた。

【事務局 白濱 GX 統括監】

本日出していただいた意見は、取りまとめて次回報告した上で、今後の計画策定に反映させていきたい。

9. その他

【事務局 田中総務課長】

事務局から事務連絡をお伝えする。

【事務局 渡邊企画政策係長】

委員報酬については、村の規定によりお申し出いただいた口座に振り込む。

次回の審議会は、8 月下旬または 9 月上旬頃に開催予定。できる限り多くの委員にご出席いただきたいため、後日日程調整を依頼する。

7 月 30 日(水)の午後と夜に、総合計画策定に向けた一般向けのワークショップを開催予定であるため、周囲にもお声がけいただき可能であればご参加いただきたい。

10. 閉会

【事務局 田中総務課長】

閉会を宣言した。